

第二十回記念公演

柳家小袁治の会

K O E N J I N O K A I

仙台・柳家小袁治の会は今年で20年を迎えることになりました。

第一回目は昭和63年11月13日でした、十年ひと昔と言いますが、

もうふた昔になるのですね、月日の経つのは早いものです。

第20回記念として楽しいゲストと仲間を仙台へ招きます。

どうぞお楽しみにして下さい。

出演者プロフィール



今回の各出演者プロフィールは、私、小袁治がご紹介します！

落語／柳家小袁治 (やなぎやこえんじ)

- ◆本名 関根 誠 (せきね まこと)
- ◆生年月日 1948年10月12日
- ◆趣味 バンコン・ゴルフのプレーと幹事、ボン酢作り
- ◆出身地 東京都千代田区神田末広町
- ◆出身校 千代田区の芳林小学校・練成中学校を経て東京都立三田高等学校に入学。女優の麻美れいさんは小学校・中学校で私の後輩である事をお互い確認しあいました(笑)
- ◆芸歴 昭和42年2月 五代目・柳家小さんに入門
前座名・柳家マコト
昭和47年11月 ニッ目昇進 柳家さん治に改名
昭和56年9月 真打昇進
初代・柳家小袁治となる
- ◆芸風 実力を認められて、ここ数年来寄席のトリ(主任)を取っている。評判が良い。ラジオの生放送の仕事も長年し、東北放送のレギュラーは10年、その間に東北弁を学んで「東北弁・錦明竹」は大好評である！

待ちました、師匠！20回記念、おめでとうございます！東北放送ラジオ「ウイークエンドワイド・ナウ・ナウ・ナウ」のレギュラー出演のため毎週土曜日に特急「ひばり」、時には寝台急行「新星」で来仙し、ラジオカーで県内をくまなく回っておられたところからのお付き合いですね。年々おもしろくなる古典落語はもちろんのこと、芸人さんらしい人前での気の配りや話芸に加え、芸人さんらしからぬ？誠実に多くのファンができ、市内のあちこちのお店であの色紙「一笑懸命」にお目にかかれます。今では、毎年お彼岸に、北山新坂通の昌繁寺で、さくらの便りが聞かれるころには北仙台駅前の学習塾寺子屋北郷舎で小、中学生相手に、と仙台での古典落語の「定席」も広がっています。今回のゲストは、小袁治師匠が先代小さん師匠宅で修行のころからかわいがっていた大師匠の孫、今が旬の花緑さん。仙台のファン一同、みなさんのご来仙を心待ちにしております。

仙台・小袁治の会一同より

ゲスト／柳家花緑 (やなぎやかろく)

花緑さんは赤ちゃんのときから知っていますよ(笑)。なにしろ五代目柳家小さんの孫ですからねえ、六代目小さんは長男が継ぎましたが七代目は孫の花緑さんが襲名すると思いますよ。

- ◆本名 小林 鳩 (こばやしきゅう)
- ◆生年月日 1971年8月2日
- ◆出身地 東京都豊島区
- ◆芸歴 昭和62年3月 祖父・柳家小さんに入門
前座名「九太郎」
平成元年9月 ニッ目昇進「小緑」と改名する
平成6年3月 真打昇進「柳家花緑」に改名



漫才／すず風にゃん子・金魚

右側がすず風金魚さんで左がにゃん子さんですよ。エネルギーギッシュな漫才コンビです。二人とも年齢不詳です。特筆するのは、にゃん子さんのお化粧の技術は相当なもので、自宅へ帰ってメイクを落とすと、犬が吠えるそうです(笑)。

- ◆コンビ経歴 平成2年「みどりのおばさん」の芸名でコンビを組む
平成6年「じゅんこと金魚」に改名して活動する
平成7年 鈴々舎馬風一門に加入、馬風の命名で「すず風にゃん子・金魚」となる



落語／古今亭菊六 (こきんていきくろく)

平成16年の第17回の小袁治の会へ出演しました。前座さんで出演して今回はニッ目に昇進して、2度目の出演になります。どれだけ上達したか楽しみです！菊六さんのお父さんは市川團十郎丈の大学時代の同級生ということで幼い頃から團十郎宅へ遊びに行ったそうです。当然ながら海老蔵さんとは子供の頃からのお友達です。

- ◆本名 宮川 真吾 (みやがわしんご)
- ◆生年月日 1979年2月23日
- ◆出身地 東京都世田谷区
- ◆芸歴 平成13年 学習院大学文学部卒業
平成14年11月 古今亭円菊へ入門
前座名「菊六」
平成18年5月 ニッ目に昇進



落語／柳家花いち

柳家花緑師匠のお弟子さんです。現在前座修業中です。宜しくお願いします。

- ◆本名 松本 康延 (まつもと やすのぶ)
- ◆生年月日 1982年9月24日
- ◆出身地 静岡県
- ◆芸歴 岐阜聖徳学園大学を卒業、社会人を経て平成18年に柳家花緑に入門する